

# JAしまねひより

2025

2

February  
Vol.107

SNSで旬な情報を投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



Facebook



10<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY  
おかげさまで統合10年



みつけた  
しまねのファーマーズ  
Shimane farmers

前田 正典さん  
米原 勇人さん

[いわみ中央地区本部]

JALしまね 西いわみ地区本部版

みーつけた

# Shimane Farmers

## しまねのファーマーズ

まえだ 前田 正典さん(76歳)  
 よねはら 米原 勇人さん(71歳)  
 いさと

今月はいわみ中央地区本部。浜田市吉地町で島根県オリジナル野菜「あすっこ」の栽培に取り組んでいる前田正典さん・米原勇人さんにお話を伺いました。



前田さん 米原さん

### 二人で挑戦する定年後の農業

浜田市の西部、海岸から少し離れた内陸に位置する浜田市吉地町。周囲には美しい山々や緑地が広がっています。この地区に住む前田さんと米原さんは、定年までそれぞれ仕事を続けながら、家の米作りや畑などを手伝ってきました。前田さんは車のディーラーや介護施設の運転手として、米原さんは合板工場で長年勤



二人三脚で「あすっこ」栽培に取り組む前田さん(右)と米原さん(左)



浜田市は「あすっこ」の作付面積が県内一を誇ります。特に吉地町は積雪がほとんどなく、栽培に向いているそう。

め上げた後、空いている時間を何かに費やそうと、二人で一緒に本格的な農業に挑戦することを決意。今まで自分なりの農業はやってきたものの、商品として出荷するための農業は初めての二人。誰かと一緒だったらやってみようという気持ちになれたと米原さん。近所に住む気の合う二人で「あすっこ」の栽培をスタートしました。

### 作る人にも食べる人にもメリットが多い「あすっこ」

ブロッコリーとビタミン菜を交配させた「あすっこ」は、子どもも食べやすい島根生まれの野菜です。二人が栽培しようと思っただきつけは、農閑期に何か栽培したいところ、定期的にちようど良い作物だったこと。また、虫害が少な



花蕾を摘心する様子。茎の先端にできる花蕾を摘心すると、わき芽が生えてきます。そのわき芽を「あすっこ」として出荷します。

い寒い時期の栽培であるため、被害が少なく比較的楽に育てられるのも決め手でした。出荷の際の規格も他の作物に比べて簡易で、初心者でも対応しやすいそう。「農薬を使うことがほぼないので、食べる人にとっても安心」と米原さんは話します。



出荷規格と照らし合わせながら調製作業を行います。

春から秋にかけては、それぞれ自分の田んぼの作業を行う二人。晩夏の稲刈りと同時に、「あすっこ」栽培に向けて共同の畑で土作りが始まります。「田んぼの作業が終わると、すぐに畑の準備に追われる。休みが全然なくて辛い」と苦笑いの前田さん。それでも「島根県の特産で、よそでは作ることができないので、『あすっこ』を作っていると自慢できる」と、二人とも自信を持って栽培に取り組んでいます。

## 年齢に負けず続けていく

年齢的に農作業が厳しくなってきたと話す二人。前田さんは昨年、夏場の暑さで熱中症になり、点滴を受けながら農作業を続けたことも。そんな厳しさの中でも農作業を続ける理由は「働かなければ健康を維持できないから」と前田さん。そして米原さんは「しんどい時もあるけど、二人でやっているから責任感がある。ちよつと今回はやめておかって投げ出すことができない」と答えます。収穫した時の達成感や近所の人にあげた時に「おいしかったよ」という声を聞くのと、とても嬉しいという二人。どんなに辛くてもみんなの喜ぶ顔が、やりがいにつながっていると語ります。

## 地域の人たちとの交流が楽しみ

前田さんは週に2回、地域のグラウンドゴルフに参加して体を動かしているそう。また、農作業が終わった後の一杯も楽しみのひとつ。家でお酒を飲むのもいいですが、年1回のグラウンドゴルフの集まりや地域の草刈りの後にみんなで飲む時間も、地域の人たちとの交流できる場として良いリフレッシュになっているそうです。



地域の人たちとグラウンドゴルフを楽しみます。

## 後継者不足が一番の課題

二人は地域の防災や草刈りなど、地域活動にも積極的に関わっています。

この地域の環境や景観を守るための組織「吉地保全会」の一員でもあります。前田さんは「みんながそれぞれ田んぼや畑を頑張っている。そうしないと、この地区は荒れ果ててしまう。なんとか維持していかないと」と話します。現在メンバーは9人ですが、発足当時から減少しているとのこと。この地区の未来を守るため、若い世代にも農業に携わってほしいという願いはありますが、「お米の価格は上がっているものの、肥料代や機械維持のコストも増加している」と、農業の現状を知る二人は複雑な気持ちです。ただ、「自分たちも親が亡くなったり、定年になるまでは農業をしようとは考えなかった」と話す二人。環境を整え、将来へ道筋を残していく。いつか誰かが農業を始めようと思った時、今の二人の頑張りが実を結ぶのかもしれない。



吉地町の風景。

## 農業を通じて地域を守る

「自分たちは体力が続く限り農業を続けていきたい」と意気込む二人。「あすっこ」栽培を始めて今

年で3年目になり、一通りのやり方はわかってきたそう。「余裕ができたなら、今後は品質をもっと高めることにも目を向けたい」と語る米原さん。機械を駆使して作業の効率化も目指し、今年は新しい品目にも挑戦したいと語ります。「年齢を考えると無理をしないことが大切」と笑いながらも、目の前作業に追われる日々こそが、生きていく力を生み出しているのかもしれない。

二人はこれまで通地域活動にも取り組みながら、農業を通じて地域を守っていくことを目指しています。これから迎える吉地町の未来に向け、一筋の光を灯していく存在であり続けてほしいと願います。

### 島根生まれの野菜「あすっこ」

アスパラガスのような食感と甘みがあり、茎も葉も蕾も余すことなく全て食べられる「あすっこ」。前田さんと米原さんによると、2~3月にできる「あすっこ」は中身がしっかりしていて美味しいそう😊まさに旬を迎えている「あすっこ」をぜひ食べてみてくださいね🌱



知ってましたか？  
お米の話



# なぜ上がったの？ お米の値段。

JAグループサポーター 林修



## 天候や需要に左右される、 お米の値段

お米の出来は天候に大きく左右されます。2023年は過去最高の猛暑を記録し、お米の生育に大きなダメージを与えました。インバウンドによる和食の需要が増えたことや、南海トラフ地震への不安も重なって、一時的に品薄になりました。



## お米の 取り合いで高値に

お米が品薄になったので、消費者や多くの業者が早くお米を手に入れたいと動きました。その結果、通常の流通ルートではないところでもお米の取り合いが起き、お米の値段が上がったのです。

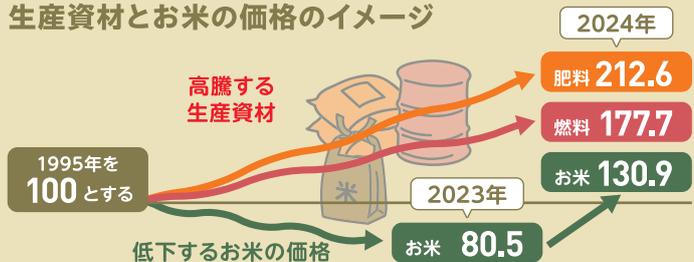


## 肥料や燃料の値上がりも影響

実はお米の値段は2023年まで低下傾向が続いていました。一方で、生産に必要な肥料や燃料などは値上がりし、農家の経営を圧迫しています。農業を続け、これからも消費者の皆さんにお米を届けるには、そのコストを適正に価格に反映させていく必要があります。

それが、美味しく安全・安心な日本の「食」を、子どもたちの世代につなげていくことになります。

### 生産資材とお米の価格のイメージ



出典：お米は総務省消費者物価指数、それ以外は農水省農業物価指数

## これからもおいしい島根米を 届けるために

今後も引き続き、生産者の皆さんと米の動向や栽培技術などについて情報共有し、異常気象の中においても安定生産・安定供給ができるよう取り組みを進めていきます。

お米をはじめとした全ての農畜産物に共通することですが、消費者の皆さんに食べていただくことが一番の力になります。食べて島根の農業にエールを！



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ島根

# 「新たな運営体制」にかかる地区別総代説明会等を開催しました

J Aしまねでは、昨年6月の第10回通常総代会での決定を踏まえ、次期中期3カ年計画の策定と実践に合わせて「新たな運営体制」を検討しています。

現在検討している運営体制の見直しは「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」できるJAを目指すため、管理部門の要員を本店に集約し、管理部門のコストを削減するとともに、各地区本部の事業拠点（支店、営農センター等）に必要な人員を再分配することが主な目的です。

また、各事業運営についても令和10年4月までに地区本部独自運営から本店が事業別に統括する運営方式（事業本部制）への見直しを検討しています。

一方で、地区本部制の強みである組合員の意思反映、農業振興をはじめとする地域特性の発揮は、JA運営の重要なポイントであるため、地区本部は引き続き存置しJAらしい運営と本店を主体とした事業運営体制の強化を進めます。

これに伴い、昨年12月から今年1月にかけて各地区本部ごとに総代説明会等を開催し、現在の検討内容や方向性をご報告いたしました。今回の地区別総代説明等でいただいた主な意見は次のとおりです。



項目	主な意見
事業本部制に対する期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の提案でやっとJAしまねがひとつになったと感じたため、どんどん進めてほしい</li> <li>賛成する。事業本部制に完全移行するまでの3年間でしっかりと検討してほしい</li> <li>地区本部ごとのスリム化は限界があるため、オール島根でスリム化してほしい</li> </ul>
事業本部制に対する不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口や組合員が減少していくなか新しい運営体制が可能なのか</li> <li>行政機関との連携が希薄になるのではないかと</li> <li>新たな運営体制のイメージが見えない</li> <li>中山間地域や遠隔地の農家は切り捨てられる不安がある</li> <li>これまで地域の実情を踏まえて支店統廃合を行ってきたが、今後は本店が主導で一気に進めることでひずみが発生するのではないかと</li> </ul>
事業本部制の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費削減ではなく売上増加になる組織づくりをすべき</li> <li>組合員にとってよかったと実感できるような体制にしてほしい</li> <li>役員、理事、監事の定数はどう考えているのか。人数が多い気がする</li> </ul>
営農、農業振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性を活かした取り組みが阻害されないようにしてほしい</li> <li>農業経営支援、農業振興のために営農指導を強化してほしい</li> <li>今後もこれまで以上に県市町村と連携して営農支援してほしい</li> <li>畜産事業の手数料を統一してほしい</li> </ul>
肥料・飼料等の価格について	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地区本部ごとに異なっていた価格が統一されるのか</li> <li>商系メーカーに負けない価格設定をしてほしい</li> </ul>
組合員への説明について	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を聞いても理解できないことがあるため、何度も細やかな説明を求める</li> <li>一部、令和7年4月から先行して取り組むことは、総代や組合員の承認は必要ないのか</li> </ul>
組合員、意思反映について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業運営が本店主体となると地区本部で意見が言えなくなる</li> <li>地区本部、支店運営委員会に組合員の意見を聞くという機能を持たせてほしい</li> </ul>
人事、職員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い職員の退職者が多いなか、さらに退職者が増えるのではないかと</li> <li>職員が納得しない異動は避けてほしい</li> <li>運営体制の見直しと給与体系一本化を同時に進めてほしい</li> <li>人事機能を一本化すると職員採用が東部に偏るのではないかと</li> <li>業務集約による余剰人数はどのような采配で配置されるのか</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>他県JAがどういった経過で事業本部制に移行したのか</li> <li>職員が減少するなか本業を維持するために外勤は廃止すべきだ</li> </ul>

※この他にも多くのご意見をいただきました。

皆さまからいただいた意見をもとに、より良い運営体制を築くことを目指し、今年6月に予定している総代代表者会や地区別総代説明会、第11回通常総代会への付議に向け、さらなる協議を進めてまいります。

引き続き、JAしまねへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、J A自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を  
もっと聞きたい

# 組合長が行く!

巡回の様子を収めた動画はコチラから

今回の訪問先

- J Aしまね石見銀山地区本部管内
- 越智裕之さん ●竹下誠さん
  - 株式会社シバオ



越智さん（前列中央）のハウスで



竹下さん（左）から話を聞く竹下常務（右）ら



(株)シバオのハウスで芝尾取締役工場長（前列中央）らと

**今**回は、越智裕之さん、竹下誠さん、株式会社シバオを石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。越智裕之さんは、大田市が行う産地ツアーへの参加をきっかけに夫婦でターナー。県立農林大学校での研修を経て令和5年11月に就農しました。30・7アールの連棟ハウスでアスパラガスを栽培し、今年3月から出荷を始める予定です。越智さんはアスパラガス栽培について「一人で生計を立てられ、選果場があるため出荷・調製作業の負担がない点に将来性を感じている」と話した他、今後の生産計画や栽培技術面のことなどについて意見交換しました。

**竹**下誠さんは、県立農林大学校を卒業後、酪農と和牛繁殖に取り組み父親のもとで就農。令和6年に父親から事業承継し、竹下さんを含め家族4人で経営しています。現在は約20ヘクタールの放牧地での放牧を交えながら繁殖雌牛15頭を飼養。竹下さんとは、事業承継後

の経営・取り組み状況や子牛価格、J Aが行う農業振興支援事業、堆肥の使い道などについて意見を交わしました。

**株**式会社シバオは、2年間のアスパラガス試験栽培を経て令和5年度に農業部門(※)を新設し、「石州瓦」を生産する瓦産業から異業種参入しました。現在は43アールでアスパラガスを栽培し、今年3月から出荷を始める予定です。同社の芝尾充秀取締役工場長と福間正治さん、楳部雅幸さんに、今年度さらにハウス30アールを増棟中であることや瓦のもととなる粘土を生成する過程で出てくる砂を土壌改良材として活用していること、ハウスの雪害対策、法人メリットを活かした収穫体制などについてお話いただきました。

※株式会社シバオの農業部門は令和6年10月に法人化し、現在は「彩百景株式会社」として農業生産に取り組んでいます。今回は法人化前に訪問したため、掲載内容は当時の情報に合わせています。

## 組合長から一言



今回は石見銀山地区本部管内を巡回し、3か所の担い手を訪問させていただいた。このうち2か所はアスパラガス栽培に取り組みされており、最初に訪問したのは東京から夫婦でターナーされた越智裕之さん。県立農林大学校などで勉強されて令和5年11月に就農。作付面積は30.7アールで、J Aのリースハウス事業を活用されていた。

次に伺ったのは株式会社シバオで、瓦を生産する有名な会社であるが、農業分野にも進出された。現在、作付面積は43アールで今年度さらに30アールのハウスを増棟すること。同社、越智さんとも令和7年の春から収穫・出荷を迎えるとのことであった。石見銀山地区本部では「アスパラガスを新しい特産に」と取り組みを進めているが、このように新たな担い手がどんどんと育っており、大変期待している。

竹下誠さんは、家族経営で和牛繁殖に取り組まれていた。繁殖雌牛15頭を飼っており、できるだけコストを抑えるため、近くの山での放牧に力を入れている若手農家であった。

組合長より一言  
あかとき  
の  
紅葉づる山に  
牛放つ





topics  
1

## 令和7年島根子牛市場（西部・中央）初セリを開催

12  
つなぐ未来  
つくり出す

JAしまねは1月14日に益田市の西部家畜市場、15日に松江市の島根中央家畜市場で令和7年島根子牛市場の初セリを開きました。

15日の中央市場では、初セリ前にセレモニーが開かれ、島根県の石原恵理子副知事や当JAの坂本満常務らが出席。石原副知事は「生産者の努力を後押しするため、JAとも連携し県内外の消費者に向け『しまね和牛』のPRに引き続き取り組んでいく」とあいさつしました。

市場活況としまね和牛の躍進を祈念し三本締めと全畜種の発展を願い県産牛乳による乾杯で令和7年の子牛市場が幕を開けました。

西部市場では子牛145頭が上場し、全頭平均価格は58万3415円、中央市場では243頭が上場し、全頭平均価格は56万4530円となりました。



多くの関係者が見守る中、初セリが行われた（15日）

topics  
2

## 島根県育英会「大阪学生会館」に県産米を寄贈

2 環境  
3 社会的  
11 住生活

JAしまねは、公益財団法人島根県育英会が運営し、島根県出身の学生らが入寮する大阪学生会館に県産米約500キロを寄贈しました。昨年12月9日には、松江市にある同会事務局を訪れ、当JAの竹下克美常務が同会の福島律子副理事長に目録を手渡しました。

県外で頑張る島根県出身の学生らを食の面から支援しようと実施。寄贈するお米は「つや姫」「きぬむすめ」「コシヒカリ」の3品種で、12月、2月、3月の3回に分けて大阪学生会館へ届けます。

福島副理事長は「会館の食堂は1か月で約150キロのお米を消費する。食材費が高騰する中、本当にありがたい」と感謝を伝えました。竹下常務は「学生自身が育った島根で生産されたお米を食べて勉学に励むと同時に故郷への思いを新たにしてほしい」と話しました。



同会の福島副理事長（中央）に目録を手渡す竹下常務（左）

topics  
3

## 令和6年度水稲有機栽培研修会&水田除草機展示会を開催

2 環境  
12 社会  
15 環境

JAしまねは昨年12月11日、出雲市の同JA営農経済本店で環境にやさしい農業生産の推進に向け、令和6年度水稲有機栽培研修会&水田除草機展示会を開きました。生産者や県、JAの指導員ら約150人が参加し、有機米の販売・買取状況や栽培技術、有機JAS認証制度などについて学びました。

研修会では、当JA本店米穀課からJAの有機米取り組み方針や有機JAS認証を受けた令和6年産米の概算金を慣行栽培コシヒカリ（1等上）と比較して約1.7倍高としたことなどを説明。島根県からは有機JAS認証制度や県の支援策について説明があり、島根県農業技術センターからは水稲有機栽培の課題である雑草対策や県内実証圃での実証結果について報告されました。

また、研修会後には、昨年6月に完成した有機多目的倉庫の見学や水田除草機の展示会を行いました。

当JAの担当者は「想定以上の参加者数となり、有機栽培への関心の高さを感じた。有機栽培は品質・収量などの課題が多くあるが、関係機関と協力しながら、生産者への支援をしっかりと進めていきたい」と意気込みました。



雑草対策のポイントについて学ぶ参加者ら



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

## 雲南女性部

JA女性組織3か年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践3年目です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう✿

### 仲間と・地域と・他組織と・次代と

JAしまね雲南女性部は、地域貢献活動や他の女性部との交流を通じて、女性部組織のさらなる発展につなげようと活動しています。

昨年の11月下旬には雲南市吉田町の小学生を対象に、雲南市と協力し本年度から行っている未利用の米粉を使ったエゴ糎土作りの特別講座を開きました。市内の食品加工会社から提供された食用に使えなくなった米粉を使用し、環境に優しい学びの機会の提供と同市の脱炭素社会の実現に向けた取り組みに貢献しています。講座では児童らに資源の有効活用や食べ残しを減らすことの重要性を伝えました。

また、12月上旬には、JA鳥取西部女性会との交流会を開きました。雲南女性部が2019年から取り組むタオル帽子作りを行うなど、県の枠組みを超えて取り組みや事例を共有し、親睦を深めました。



一所懸命青年連盟

## JAしまねやすぎ青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

やました  
山下

いさと  
勇人さん



JAしまねやすぎ青年連盟（以下、農青連）の山下勇人さん（44）は、安来市東赤江町でイチゴを栽培しています。大阪市生まれでありながら農業に興味を持った理由は、自身が作ったものを届ける喜びと、新しい可能性を追求したいという想いからでした。社会人向けの週末有機農業学校を通じて農業を学び、職を辞め、さまざまな地域・人々と出会い、情報を集めました。安来市に出会った瞬間、想いが一気に現実のものとなり就農し、2016年に「いさとふあーむ」を立ち上げました。自身のYouTubeチャンネルでは、イチゴ栽培に関する知識やノウハウを発信しています。JAS認定資材を使い、可能な限り農薬を使わずに栽培されたイチゴには、こだわりと情熱が詰まっています。全国に届けられ、幸せな気持ちで口にされることは、農業者にとって最高の報酬です。農青連には同様にターンのイチゴ農家が多く、活動には積極的に参加し、情報交換の場として活用しています。山下さんは「安心と喜びをお届けするために、自然と共生し美味しいイチゴを作りたい」と意気込みを語りました。

## 整枝、追肥、灌水、剪定で長期収穫

トウガラシのうち、辛味のない肉厚の楕円（だえん）形なのがピーマンです。また、パプリカと呼ばれるものは、赤、黄、橙（だいたい）などの着色した完熟果を収穫する品種です。高温性で暑さに強く、病害虫が少ないので栽培しやすい野菜です。

### 品種

ピーマンの育苗期間は70～80日と長いので、苗の購入が便利です。品種を特定することが難しいですが「京まつり」（タキイ種苗）、「翠玉二号」（サカタのタネ）などが良いでしょう。

### 良い苗の選び方

良い苗は、①本葉8～10枚で、双葉が付いている ②茎が太く節間が短くしっかりしている ③葉が緑色でつやがある ④一番花のつぼみが付いている ⑤病害虫のないもの、です（図1）。

### 畑の準備

植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまいて土とよく混ぜておきます。1条植えの場合は1週間前に幅70cm程度の栽培床を作り、中央に幅30cm、深さ20cmの溝を掘り溝1m当たり化成肥料（NPK各成分10%程度）200gと堆肥2、3kgを施しておきます（図2）。

### 植え付け

晩霜の恐れがなくなったら、株間50cm程度で植え付けます。あらかじめ黒のポリフィルムでマルチをし、地温を高めておきます（図3）。

### 栽培カレンダー（ピーマン）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
冷涼地			▲	—	■			
中間地		▲	—	■				
暖地	▲	—	■					

▲ 植え付け — 生育 ■ 収穫

### 整枝・誘引

植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿し、株を支えます。一番花が着果すると、脇芽が伸びてくるので、一番花のすぐ下から出る勢いの良い2本の側枝を残し、他は取り除き3本仕立てにします。そして、一番花より下の脇芽は早めに摘み取ります（図4）。なお、一番花は着果負担があるため、開花中に摘花します。その後、主枝または側枝に沿って1m以上の支柱2、3本を交差させて誘引・固定します。

### 追肥・灌水（かんすい）

収穫が始まる頃から、マルチフィルムの裾をめくり、1平方m当たり（約4株分）化成肥料50g程度を株元にまき、土寄せします。その後、半月置きに畝の裾に同量を収穫中休みなく与えます。根張りが浅く、乾燥に弱いので夏場は毎日灌水しましょう。

### 剪定（せんてい）

盛夏になると、枝が込み合い、葉が茂って果実への日当たりが悪くなってきます。そこで、この頃に重なった枝を剪定します。

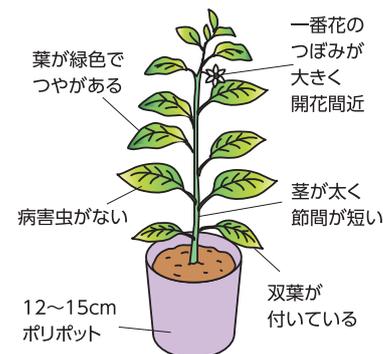
### 病害虫防除

アブラムシにはマラソン乳剤、アディオン乳剤などの登録農薬で防除します。

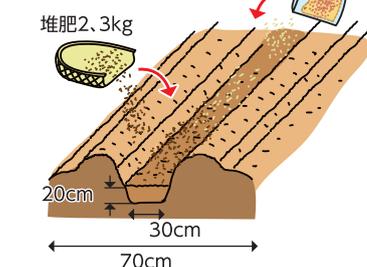
### 収穫

開花後15～20日、30g程度のつやのある若い果実を収穫します。

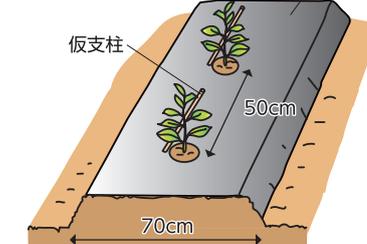
### 図1 良い苗の選び方



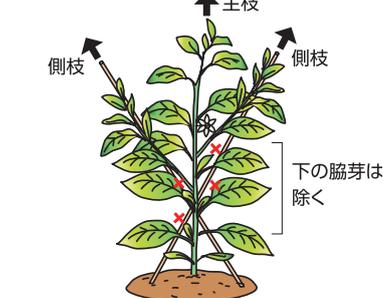
### 図2 畑の準備



### 図3 植え付け



### 図4 整枝・誘引



### お知らせ

1月の理事会は1月31日開催のため、広報誌の作成スケジュール上、理事会情報は3月号への掲載とさせていただきます。

# 「新たな運営体制」の検討にかかる西いわみ地区本部総代説明会

JAしまね西いわみ地区本部は12月21日、益田市立市民学習センター多目的ホールにおいて新たな運営体制の検討にかかる地区本部総代説明会を開催しました。

当日は、西いわみ地区本部田村清己本部長をはじめ、中村力理事、西川友史理事、本店から日高光弘代表理事専務、竹下克己常務理事が出席し資料説明を行い、総代の皆さんからご意見をいただきました。



田村本部長挨拶



日高専務挨拶

## 主な発言内容と回答

### 水稲の関係

二等、三等米の概算金はいくらか。また追加金は二等、三等米ももらえるのか。



とりの状況を把握しているわけではないので、地区本部の考え方や人事状況を無視して本店で一括して行うということはありません。ただし、JAしまね全体を総合的に人事していくために地区本部と連携し、一体的な人事をするためには本店が中心とならなければなりません。また、重複している機能を二元化集約し、人や物を再分配し、再配置をしていかなければならない。これから具体的な内容については会議を行っていきませんが、地区本部を無視して物事を進めるといった考えは持っていないことをご理解いただきたい。

### 日高専務

まず追加金の方から説明いたします。これは全銘柄全品種全等級一律で60キロ当たり1,200円といこととで、30キロ当たり600円お支払いいたします。概算金については一等米価格二等米価格それぞれ設定しており、前年に対して30キロ当たり平均で2,300円の上乗せをさせていただきます。ただし、きめむすめについては60キロでいまして200円下がった金額を提示させていただきますいております。

### 田村本部長

匹見事業所の欠員については、すぐにはいきませんが、事業所そのものの見直しも含め、検討しておりますのでしっかりと対応していきたいと思っております。

私のパソコンにJAバンクより振込詐欺のメールが来た。こういった対応をおこなっているのか。

フィッシング詐欺というものが非常に流行っており、これは送信者を偽って投資勧誘や振込を促すといったものです。事前に防いだ例もあり、JA内でもフィッシング詐欺に対する啓発は行っています。アプリやメールで投資などをすすめることは一切ありませんので、その際は警察や支店へご相談していただきたいと思います。

### 竹下常務

営体制改革、運営体制について これまでも支店の統廃合などは地域の実情を考慮しながら ゆっくりと改革を進めていったが、今回は本店が主導で一気に進めることにより、ひずみが発生するのではないか。また、

業務集約により調整された人員はどのような配分で各地域に派遣されるのか。

これまで地区本部が事業改革あることについては評価しています。ただ今後どうしていくのかということでは、事業改革がこれで満足という状況ではないと判断しています。

そのためには、JAしまねという一つの組織が11の連邦国家ではなく、一つの独立国としてJAしまね一体となり事業をすすめていきたいという大きな目的を持っています。これまでも肥料農業等を県下一律化という目標のもとで、ほぼ統一することができており、今後そのような取り組みを進めていきたいと考えています。

また、人員の再配置については職員の全人数も減っており、採用も非常に厳しい状況での職員定数は今後考えていかなければならない。組合員利用者の皆様の利便性・サービスを下げずに対応していくかなければならないため、事業本部による統一的な人事配置により、JAしまね全体のトータル人事を行っていきます。

### 御神本康一総代 (益田地区)

甲子園について JA資材店舗C S甲子園でラウンドアップ賞というものがあがるが、これはどういった賞なのか。ラウンドアップの売上に応じて表彰されるのか。



店舗の活性化を目的としたJA資材店舗C S甲子園という全国大会があり、その中でラウンドアップ賞という賞があります。これは、店舗内の肥料農薬の陳列や展示など工夫をした店舗についての表彰であり、ラウンドアップの販売による表彰ではありません。

### 大崎部長

出雲地区本部の極端な実績・業績の悪化について 本店としてどう考えているか。



### 眞庭洋司総代 (高津地区)

ラウンドアップによる残留農薬被害は世界的にニュースになっているが、農協で販売することに問題はないのか。

### 竹下常務

モンサント社のラウンドアップについてはご指摘の通り世界で訴訟問題等を起こしていることは事実ですが、現在販売されているラウンドアップについては様々な学会にて安全性が認められております。

### 日高専務

収益・収支については全体が下がっている状況で、2年前の業績悪化は会計上の問題で一時的に下がりましたが翌年度には持ち直しています。依然としてJAしまね全体の4割を維持する事業規模で事業を進めていただいております。

### 日高専務

遠隔地の農家は切り捨てられると不安に思うのではないかと。

### 日高専務

中山間地が切り捨てられてはいいけないと考えており、中山間地の対応についてしっかりと念頭に置いて協議をさせていただきます。

### 日高専務

生産資材の高騰だけでなく、農業機械も高騰しているにもかかわらず、農機部門をJAから切り離れたのは愚策ではないかと。

### 日高専務

農機事業の別会社化については、甲乙つけられない点も否定できないと思っておりますが、組合員対応を少しでも維持して進歩していくために、私どもはこの体制を良しとして提案させていただきます。

### 日高専務

新たな人事についての質問について、本店ですべての地区本部一人ひとりの状況を把握しているわけではないので、地区本部の考え方や人事状況を無視して本店で一括して行うということはありません。ただし、JAしまね全体を総合的に人事していくために地区本部と連携し、一体的な人事をするためには本店が中心とならなければなりません。また、重複している機能を二元化集約し、人や物を再分配し、再配置をしていかなければならない。これから具体的な内容については会議を行っていきませんが、地区本部を無視して物事を進めるといった考えは持っていないことをご理解いただきたい。

### 日高専務

私のパソコンにJAバンクより振込詐欺のメールが来た。こういった対応をおこなっているのか。

### 日高専務

フィッシング詐欺というものが非常に流行っており、これは送信者を偽って投資勧誘や振込を促すといったものです。事前に防いだ例もあり、JA内でもフィッシング詐欺に対する啓発は行っています。アプリやメールで投資などをすすめることは一切ありませんので、その際は警察や支店へご相談していただきたいと思います。

### 寺戸倉雄総代 (匹見地区)

地区本部ごとではなく、本店で人事を行うという説明であったが、先日、匹見事業所に欠員があった。そういった場合の対応はスムーズに出来るのか。



新たな人事についての質問について、本店ですべての地区本部一人ひとりの状況を把握しているわけではないので、地区本部の考え方や人事状況を無視して本店で一括して行うということはありません。ただし、JAしまね全体を総合的に人事していくために地区本部と連携し、一体的な人事をするためには本店が中心とならなければなりません。また、重複している機能を二元化集約し、人や物を再分配し、再配置をしていかなければならない。これから具体的な内容については会議を行っていきませんが、地区本部を無視して物事を進めるといった考えは持っていないことをご理解いただきたい。

### 日高専務

新たな人事についての質問について、本店ですべての地区本部一人ひとりの状況を把握しているわけではないので、地区本部の考え方や人事状況を無視して本店で一括して行うということはありません。ただし、JAしまね全体を総合的に人事していくために地区本部と連携し、一体的な人事をするためには本店が中心とならなければなりません。また、重複している機能を二元化集約し、人や物を再分配し、再配置をしていかなければならない。これから具体的な内容については会議を行っていきませんが、地区本部を無視して物事を進めるといった考えは持っていないことをご理解いただきたい。

### 齋藤学総代 (六日市地区)

営体制改革、運営体制について これまでも支店の統廃合などは地域の実情を考慮しながら ゆっくりと改革を進めていったが、今回は本店が主導で一気に進めることにより、ひずみが発生するのではないか。また、



業務集約により調整された人員はどのような配分で各地域に派遣されるのか。

### 日高専務

これまで地区本部が事業改革あることについては評価しています。ただ今後どうしていくのかということでは、事業改革がこれで満足という状況ではないと判断しています。

### 日高専務

また、人員の再配置については職員の全人数も減っており、採用も非常に厳しい状況での職員定数は今後考えていかなければならない。組合員利用者の皆様の利便性・サービスを下げずに対応していくかなければならないため、事業本部による統一的な人事配置により、JAしまね全体のトータル人事を行っていきます。



## 西部家畜市場で令和7年子牛初セリ開催

令和7年初となる子牛のセリが1月14日、益田市遠田町の西部家畜市場で開設されました。

セリを前に、繁殖雌牛の能力向上並びに飼養管理技術の改善に取り組み、和牛増殖に貢献したとして、全国和牛登録協会より西いわみ和牛改良組合へ、また令和6年12月の島根県枝肉共励会において、最優秀素牛生産者賞を受賞した藤井真さんへそれぞれ表彰状が贈られました。

新たな年の始まりにあたり畜産農家の安定経営と健康を願い、西いわみ地区本部田村清己本部長の音頭による3本締め、いわみ中央地区本部の佐々木豊本部長の発声による牛乳での乾杯を行い令和7年の初セリを祝いました。

この日も西いわみ地区本部営農経済部職員による牛汁が振舞われ、早朝から子牛の搬入等準備に追われた生産者をはじめ、購買者や市場関係者の皆さんは、手渡された汁の入った器に箸を進め冷え切った体を温めていました。

依然厳しい環境下にある畜産農家にとって、今年一年の市場価格の推移を見極める重要な初セリとあって、購買者の活発な価格提示に期待は膨らみました。



## 1月の子牛市場

西部畜産課報告

この日の上場は雌53頭、去勢92頭、計145頭で、前週より全国的に雪の予報で当日の天気が心配されましたが、気温が低かったものの穏やかな天候で出荷牛の搬入等、事故もなく無事開催されました。年末にかけて全国的に相場が上昇傾向にあったことから価格が期待される中、平均価格が雌519千円（前回比109%）、去勢621千円（前回比106%）、計583千円（前回比107%）、特に雌は最高額1655千円を記録するなど堅調に推移しました。

次回の市場開設日は3月18日（火）、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は寒冷対策などをおこない、事故や疾病等無いようお願いいたします。

1月西部子牛市場成績（税込） (単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市 (益田)	雌	27	1,655,500	372,900	558,515	287
	去勢	50	1,046,100	236,500	646,342	325
	計	77			614,724	311
益田市 (美都)	雌	0				
	去勢	1	611,600		611,600	360
	計	1			611,600	360
益田市 (匹見)	雌	3	449,900	405,900	434,133	281
	去勢	3	629,200	377,300	503,800	305
	計	6			468,967	293
津和野町 (津和野)	雌	6	525,800	347,600	435,783	289
	去勢	0				
	計	6			435,783	289
津和野町 (日原)	雌	5	739,200	495,000	567,160	308
	去勢	5	885,500	259,600	513,040	295
	計	10			540,100	302
吉賀町 (柿木)	雌	2	440,000	410,300	425,150	267
	去勢	2	533,500	497,200	515,350	302
	計	4			470,250	285
吉賀町 (六日市)	雌	2	515,900	502,700	509,300	322
	去勢	0				
	計	2			509,300	322
西部市場 総合計	雌	53	1,655,500	302,500	519,158	292
	去勢	92	1,046,100	236,500	621,256	286
	計	145			583,415	288



## 吉賀町に新たな集落営農型農業法人が誕生 「一人一人の一步を、大きな一步に」

吉賀町を活動拠点とする農事組合法人月和田の設立準備委員会（齋藤学代表）は1月25日、抜月河内集会所において設立総会を開催しました。発起人を代表して齋藤さんは挨拶で「平成26年の月和田地区圃場整備を契機に、コスト削減を図りながら、皆でいつまでも農業をしようという思いで、1区画が30アール程度の圃場整備を行った。今後の農業・農地を維持する上で最も労力を要するのは畦畔の草刈りという判断のもと、全ての畦畔にセンチピートグラスを植え付けた。組合員の皆さんが参加し継続できるように経営安定を図って地域の環境整備も行い、組合員一人一人の歩みを大きな一步にすることをスローガンに掲げた」と語りました。

来賓を代表して、岩本一己吉賀町長、島根県西部農林水産振興センター益田事務所島津欣史所長、J Aしまね西いわみ地区本部中村力理事が挨拶を行い、法人の活躍に期待とエールを贈りました。

下野和敏さんを議長に選任し、定款の設定や役員を選任、令和7年度事業計画（主食用米2ヘクタール、飼料稲（WCS）8ヘクタール作付け）等全ての議案を可決承認しました。

理事には、齋藤学さん、村上正雄さん、山根徳政さん、監事に三浦幸次さんを選任し、構成人員16人の農事組合法人月和田は、昨年10月からの準備期間を経て僅か3ヶ月で農業生産法人としてのスタートを切りました。



## 令和6年度益田メロン部会通常総会開催 「基本は土づくり 安全・安心なメロン生産で信頼のある産地づくり」

益田メロン部会（大場尚俊部会長）は1月24日、J Aしまね西いわみ地区本部会議室において令和6年度通常総会を開催しました。

開会にあたって大場部会長は「昨年を振り返ってみると、3月初めの寒波はアムスメロンに少なからずの影響があったと思われるが、日頃部会員の皆さんが培ってきた栽培技術によって、計画以上の販売を見ることが出来た。近年の異常気象による暑さ問題も関係機関の指導等によって対応し、夏作・秋作ともに前年以上の収入を得ることが出来た。然しながら資材の高騰等が続く中で収入自体は伸び悩んでいる。今後の栽培管理等十分留意の上、引き続き良品質のメロン栽培にご尽力いただきたい」と挨拶しました。

続くJ A挨拶で田村清己本部長は「良いものを作っていくという観点から、厳しい選果基準をクリアし、肥料農業の適正な使用で安全なものを市場へ送り、評価を高めてしっかりと売っていく。生産者、行政等関係機関、J Aが一体となって取り組むことが重要」と話しました。

続いて島根県西部農林水産振興センター益田事務所島津欣史所長、益田市産業経済部農林水産課橋本秀治課長が来賓を代表して挨拶を行い、共励会表彰では年間販売高最優秀賞の町屋支部の狩野竜彦さん、最優秀賞支部の芝田支部、町屋支部が表彰されました。

議長に虫追支部の椋木孝光さんを選任し議案審議を行い、全ての議案を可決承認しました。

第4号議案の役員改選では、3期6年の長きにわたって部会長を務めた大場部会長が勇退、後任に飯田地区の世良竜一さんを選任しました。



新役員を代表して世良竜一新部会長が挨拶を行いました。





## 津和野町農林業問題研究集会（津和野町農政会議）

津和野町農政会議（永田寿秋会長）は1月10日、J Aしまね日原支店ひまわりに津和野町・島根県・J Aの関係者を招き、農林業問題研究集会を開催しました。

この研究集会は、町における農林施策・予算策定の際、現場の意見が反映されるよう行政側と、農政会議会員が直接意見交換を行うもので毎年開催しています。

開会にあたり永田会長は「資材価格の高止まりが続く中、昨年は米価が持ち直すという明るいニュースもあり、今後の農業が良い方向へ向かうのではと期待している。昨年も野菜・園芸作物等非常に良い価格で推移した。これは需要と供給のバランスに影響を受けたもので、今後は生産費に見合う適正な価格での取引が可能になると思われる。今日は昨年提出した要請書を基に、それぞれの組織における様々な課題等率直な意見をいただき、有意義な研究集会となるようご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

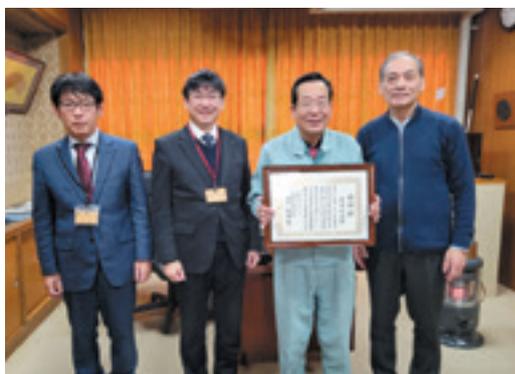


来賓を代表して、下森博之津和野町長、中村芳信島根県議会議員、草田吉丸津和野町議会議長、西部農林水産振興センター島津欣央益田事務所長、J Aしまね西いわみ地区本部田村清己本部長がそれぞれ挨拶を行い、島根県農業技術センターのスマート農業スタッフ野津孝徳氏より「中山間におけるスマート農業の取組」と題した研修会が行われました。

続く意見交換会では、組織を代表して出席した会員がそれぞれの立場から意見を発表し、町や県、J A側が回答するキャッチボール方式で行われ、生産者サイドからの様々な課題や意見に対し、下森町長・田村本部長をはじめ該当する担当部署から可能な範囲で提案や回答がありました。

現場の厳しい状況を互いに理解し、地元の農林業発展に向けて生産者・関係機関が一体となって、向うべき方向性を指し示す貴重な研修会となりました。

## 永年の新米贈呈に感謝状



その年収穫した新米を津和野町が運営する英語塾HANKOに、永年にわたって提供してきた同町寺田の青木和憲（元JA理事）さんに感謝状が贈られました。

12月25日、津和野高校校長室で行われた授与式には、一般財団法人つわの学びみらいの宮本善行理事長らも同席、松田哉校長先生から「勉学に励む生徒を『食』で支え津和野高校の魅力化に貢献した」とする感謝状の内容が読み上げられました。

青木さんは平成25年の豪雨災害からの早期復興を誓い、地元を元気づけようとSLの田んぼアートを始め、収穫した米を同塾に贈呈してきました。近年では同校生徒もこの取り組みに参加し、田植えから収穫までの農業体験の場にもなっています。

感謝状を手にとった青木さんは「農業の後継者が不足している状況で、一人でも多く米作りに携わってもらいたい。食糧確保の観点からも農業は大事です」と話し、生徒の皆さんから送られた寄せ書きや、卒業生からのお礼の手紙を受け取り「まだまだ農業を続ける」と意気込みを伝えました。





## 西いわみ女性部美都支部新鮮野菜朝市を開催

J Aしまね西いわみ女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は12月25日、J Aしまね美都事業所で恒例となった年末朝市を開きました。

販売開始前から会場内は始まりを待つ人で賑わい、佐々木支部長の「それでは始めます！」の号令と同時に、来場者は予め決めてあったお目当ての品物を手にし、次々に買い物かごへと入れていました。

出品物の多くは会員とその家族が生産した新鮮野菜や加工品で、通常の小売店等で販売されている単価と比較しても安価な価格に設定され、この日を楽しみに来店された皆さんからは「安いねー」と、毎年開催されるこの売り出しに感謝の声がかれました。



開店と同時に特設テント内は大混雑。



一通り買い物を済ませた皆さんは、籠の中身を確認しながら支払いの列へと並んでいました。

津和野経済センターの一年を締め括る歳末感謝祭は、盛況のうちに終わることが出来ました。多くの皆様にご来店いただき誠にありがとうございました。

J Aしまね津和野経済センターは12月27日、恒例の「津和野経済センター歳末感謝祭」を開催し、朝早くから大勢の来店客で賑わいました。感謝祭の歴史は古く、地元津和野町民の皆さんにとっては師走の風物詩として馴染みの深いものとなっています。

この日も、つわの野菜生産部会（木村大輔部会長）の出品協力で、売り場には地元の新鮮野菜を中心に、餅やしめ飾り・切り花といった正月用品も数多く並び、早くから開店を待つ長蛇の列が出来ていました。

来店者は開店と同時に一斉に目当ての品物を手にし、「早めに来てよかった。他の店で買うより安いし新鮮。今日はキャベツや白菜など地元の新鮮な野菜としめ飾りを買いました」と一杯になったカゴを重たそうに持ち、支払いの順番を待つ列に並んでいます。

## 恒例「津和野経済センター歳末感謝祭」開催





## JA西いわみ女性部支部活動

### 津和野支部

津和野支部（中川美恵子支部長）は今年度もエコキャップ運動に取り組み、12月25日に津和野町社会福祉協議会の小山隆事務局長へ12キロのキャップを届けました。中川支部長は「これからもエコキャップ運動の目的を部員さんへ伝え、回収に努めていきたい」と話しました。

エコキャップ運動発足時の目的は、リサイクルの促進、CO<sub>2</sub>の削減、売却益での発展途上国の医療支援の3つでしたが、リサイクルの過程で雇用創出ができることがわかり、現在では障がい者・高齢者雇用促進などを含め4つの目的となっています。



### 西益田支部

年神様を迎えるために門前などに立てる門松。西益田支部（山本喜久子支部長）は12月29日、お正月飾り講座を開きガーデンシクラメンなどを使った高さ約30cmのミニ門松づくりに挑戦しました。

笑う門には福来る！



立派な笑顔の門松が出来ました。 会場：JA西益田支店



講師は同支部会員の青木みや子さん。

### 鎌手支部

鎌手支部（亦賀アツ子支部長）は1月21日、ミニデーサービスを開きました。この日は、益田市レクリエーション協会の波田篤男さんを講師に招き、習慣づいた日頃の思考回路を刺激することで脳の活性化を図る、座ったままのゲームや頭の体操などを行い、参加者20人は共に楽しいひと時を過ごしました。



昼食に用意された女性部手作りのお弁当  
【ひじきご飯+豆腐ハンバーグ+大根の酢物+  
高菜とかまぼこ炒め+あらめ・さつま芋】



会場：大浜西会館



## 30年の歴史に幕「横田自由市」

今から30年前、元JA益田市豊田支所（旧西益田支店）の敷地の一角に小さな無人市「横田自由市（早内敏生会長）（当時 三浦利雄会長）」が誕生しました。

設立当初は会員手作りによる竹筒をくりぬいた料金箱を置いただけの信用商売で、会員が持ち寄る地元野菜や漬物など、全て50円〜100円（税込み）での販売を基本としました。

平成9年12月、会員の増加によって出荷量も増え、手狭な売り場スペースから隣接する資材倉庫への移転が決まりました。

店舗の拡充は会員の生産意欲の向上にもつながり、通常の野菜や加工品のほか年末には会員手作りのしめ飾りの販売など、多くの皆さんから頼られる存在となりました。

国道9号線の傍らに立つ「新鮮野菜」「横田自由市」の幟を目にして立ち寄る人など利用者からは「新鮮で安い」と評判となり、当時の青空市（産直市）ブームも相俟って行政等様々な情報誌やメディアに取り上げられたこともありました。

「みんな仲良く、消費者ニーズにこたえて、永く続けよう」これが横田自由市設立当時の合言葉でした。然しながら出荷量の減少等様々な課題が要因となって、全会員一致した判断のもと閉店の決断に至りました。

地元の方以外にも益田市内や津和野町・吉賀町など多くの方に愛された横田自由市は、令和6年12月28日をもってその歴史に幕を下ろしました。



令和6年12月28日午前8時30分



発足時の料金箱を手に笑顔で当時は振り返る早内会長

## 第2回全役職員会議を行いました

JAしまね西いわみ地区本部は1月25日、益田市元町の益田市立市民学習センター1多目的ホールで第2回全役職員会議を開催しました。

はじめに全員で「JA綱領・基本理念・基本目標・職員行動規範」を唱和し、開会にあたって田村清己本部長は挨拶で、JAの原点である「農業」の重要性について話しました。

西いわみ地区本部運営委員でもあるあおきの花農園園主青木伸次さんが「花の心〜Flower in mind」と題した講演を行い、これまで携わった自身の経験や体験をもとに、地元で花壇苗の経営を始めたきっかけ等について説明がありました。

続いて椋木鉄也統括部長による令和6年度事業実績等資料説明があり、DVD視聴を交えた人権同和研修、コンプライアンス研修を行いました。

最後に西川友史理事が閉会の挨拶を行い、全役職員会議の全日程を終了しました。





メガネ・補聴器の専門店  PARIS MIKI

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書用、パソコン用、遠近両用でも

メガネ一式

¥13,200税込〜

『移動型店舗  
パリミキカー』

メガネ&サングラス  
300本〜



お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 〜 お気軽にどうぞ

令和7年 3月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

1日(土)	9時～15時	柿木 展示会	18日(火)	10時～15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)
3日(月)	9時～12時	西益田支店	19日(水)	9時半～13時	匹見事業所
	13時～16時	益田中央支店			
5日(水)	9時半～13時	匹見事業所	21日(金)	9時～13時	日原経済C
11日(火)	9時半～13時	津和野経済C	25日(火)	9時～12時	中西事業所
14日(金)	9時～16時	益田グリーンセンター 展示会		13時～16時	益田グリーンセンター
15日(土)	9時～16時				
17日(月)	10時～13時	六日市経済C	31日(月)	10時～15時	Aコープ ラポ店前 (益田東支店) 

読者の俳句川柳

お題 「恵方巻」

4月のお題は「種蒔き」です  
ご応募お待ちしております

※締切※  
令和7年  
3/15  
(当日消印有効)

- 恵方巻 頂く感謝に 願掛けて (益田市 加藤 富之さん)
- いつからだ 豆まきよりも 恵方巻 (益田市 野村 芳子さん)
- 吉方位西方 向いて頂く 恵方巻 (益田市 岡崎 雄一さん)
- 恵方巻き 丸かぶりより 切り分けてよ (益田市 佐々木いと子さん)
- 恵方巻 向きはやっぱり 古里よ (益田市 柳井 文江さん)
- 恵方巻 今年の方角 どちらなの (益田市 村上登美子さん)
- 恵方巻 啣えて頼み 考える (益田市 喜村 信江さん)
- 恵方巻 巳年のことし どちらむき? (益田市 澁谷美保子さん)
- 恵方巻 背にして頼ばる 恵方巻 (益田市 田中千代子さん)
- 恵方巻 頬張る孫の 笑う顔 (益田市 小笠原かよみさん)
- 恵方巻 今年はどっちの 方向か (益田市 両見かずみさん)
- 西南西 向いてホラバル 恵方巻 (益田市 椋木 節子さん)
- 恵方巻 丸かじりは もう無理かな (益田市 宅野ミツ代さん)
- 方角を 気にせずかじる 恵方巻 (益田市 初山 敏子さん)
- 恵方巻 伸びる腹巻 ワンサイズ (益田市 齋藤 照平さん)
- 恵方巻 良い方角で かぶり付く (津和野町 大井 守さん)
- 恵方巻 無病息災 祈り食べ (津和野町 日熊 春子さん)
- 方向オンチ 四方八方 恵方巻 (津和野町 大羽 克己さん)
- 恵方巻 ジジ・ババ二人で 半分こ (津和野町 斎藤 久衛さん)
- 淑やかに 我が家人気の 恵方巻 (津和野町 古山 包子さん)
- 恵方巻 縁起かついで 西南西 (津和野町 桑原八恵子さん)
- 戌生れ 吾の恵方は 三碧木星 (津和野町 中野 健一さん)
- 恵方巻 胡瓜がぬけて 遠眼鏡 (津和野町 豊田 和嗣さん)
- 節分に 津和野で食べた 恵方巻 (吉賀町 田村 民子さん)
- 恵方巻 無病願って 西南西 (吉賀町 中村恵己子さん)

応募方法 ●葉書に 俳句か川柳かを明記してください。住所、氏名、電話番号をご記入ください。  
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課



# 農業用フィルムの販売

JＡしまね西いわみ地区本部は農業用フィルムの加工場を有し

災害発生時にもスピーディに対応します



農ビ加工解反機

解反機（幅10メートルまで解反できます）

《お問い合わせ》

J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部 経済課

〒698-0024 鳥根県益田市中吉田町1000

TEL: 0856-23-0933 FAX: 0856-22-4350

# 春の農機フェア開催

みなさまのお越しをお待ちしています。

令和7年  
とき **3.7金・8土**  
時間 9:00~16:00 9:00~15:00

ところ JA全農島根農機サポート(株)  
西いわみ営業所  
益田市向横田町1806-2

益田グリーンセンター

# 春の感謝祭セール

みなさまのご来場をお待ちしています。

3月14日金・15日土開催  
時間 9:00~16:00 9:00~16:00

J Aしまね  
益田グリーンセンター  
益田市中吉田町1001-1  
お問い合わせ先 0856-23-0908

# 「スマホ」と「マイナンバーカード」で確定申告

申告会場の受付時間は午前8時30分から午後4時までです

土曜・日曜・祝日の執務は行っていません

申告と納税は期限内に！

所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納税は  
**3月17日（月）まで**

個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は  
**3月31日（月）まで**

便利な振替納税をご利用ください

【令和6年分の振替日】

【所得税及び復興特別所得税】  
**4月23日（水）**

【消費税及び地方消費税（個人事業者）】  
**4月30日（水）**

## 書かない確定申告

スマホとマイナンバーカードで確定申告

マイナポータル連携でさらに便利に！

国税庁ホームページ

「確定申告書等作成コーナー」

なら金額等を入力するだけで

**自動計算**で申告書が完成！

詳細は  
こちらから



控除証明書等のデータが  
自動入力できる♪

**確定申告書の作成時間が短縮！**  
医療費やふるさと納税の  
データが自動で連携されて楽！

申告書の作成は  
こちらから



作成できる申告書

- ・所得税の申告書
- ・青色申告決算書
- ・収支内訳書
- ・消費税の申告書
- ・贈与税の申告書

e-Taxの使い方  
(操作方法など)

e-Tax・作成コーナーヘルプデスク  
**0570-01-5901**

納付はキャッシュレス納付が便利です！

詳細は  
こちらから



振替納税

ダイレクト納付

インターネット  
バンキング等

クレジットカード  
納付

スマホアプリ納付

※税務署の確定申告会場で不動産の売却や贈与税の申告相談を希望される方は、3月3日から3月17日までにお越しください。

詳しい情報は国税庁ホームページへ  で

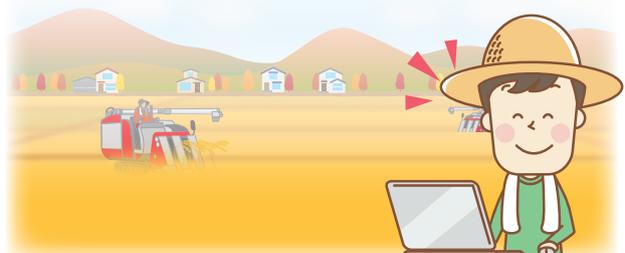
問い合わせ先／益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)

# 令和7年産水稻生産実施計画書 (兼水稻共済変更届出書) についてお知らせ

水田を所有、管理、耕作されている全ての方あてに、ただいま「令和7年度水稻生産実施計画書（兼水稻共済変更届出書）」を郵送させていただいております。この「水稻生産実施計画書（兼水稻共済変更届出書）」は1年間の作付計画や各種交付金の支払い、水稻共済の引受や損害評価等の**基礎資料**となる**大変重要な書類**です。

水稻生産実施計画書がご自宅に届いた方で、まだ提出されていない方は、内容をご確認ください。記載内容を変更する場合、同封の記入例を参考に修正し、ご提出いただきますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、お近くの地域農業再生協議会にお問い合わせください。



問い合わせ先

- 益田市農業再生協議会
- 津和野町農業再生協議会
- 吉賀町農業再生協議会

- (益田市農林水産課) : 0856-31-0316
- (津和野町農林課) : 0856-72-0653
- (吉賀町産業課) : 0856-79-2213

## 西部農林水産振興センターからのお知らせ

## 農薬を適切に保管していますか？

農薬は、農薬取締法、毒物及び劇物取締法などにより取扱が定められています。危険物指定の農薬は消防法に従った保管・管理をしましょう。また、「盗難防止」「誤使用防止」「混入や汚染の防止」を原則として、取扱いのルールを確認し、遵守することが必要です。農薬による環境や人体への悪影響を防ぐためにも、正しい保管や取扱いの手順を守り、日常的に汚染事故などのリスクを軽減させましょう。



## 農薬の保管についてチェックしてみよう

- ✓ 農薬を農薬保管庫外に放置していない
- ✓ 作物に使用する農薬と、作物以外に使用する農薬を分けて保管している
- ✓ 農薬関係以外のものは置かれていない
- ✓ 農薬管理の責任者が農薬保管庫のカギを管理しており、誤使用や盗難を防止している
- ✓ 毒物・劇物及び危険物は、それらを警告する表示がされており、他の農薬と明確に区分し保管している
- ✓ 保管庫は、引火しにくい材質でできている
- ✓ ラベルが読める程度の明るさがある



上段：粒状の剤  
下段：液状の剤



開封済みの農薬は、密閉してトレーに入れる



保管庫は、引火しにくい材質で施錠ができるもの  
すぐわかる場所に毒劇物の提示をする

## 飛散・流出した場合の拡大防止と清掃措置について

- (1) 液体・引火性のもの等（乳剤、液剤、ゾル）  
⇒火気に注意し、流出したところに土、砂、オガクズなどをまき、  
薬剤を吸着させてから飛散しないように注意して掃き集める。
- (2) 固体（粉剤、粒剤、水和剤など）  
⇒回収跡に土、砂、消石灰、活性炭などをまいて、残りの薬剤と共に掃き集める。
- (3) 気体（スプレー剤など）  
⇒破損したものの以外は漏れ出さないようにする。付近に人を近づけないようにする。

農薬を使用していて異常を感じた場合は、  
直ちに最寄りの病院で手当を受けましょう。

急を要しない場合は、中毒に関する緊急問合せに365日応じてくれる、  
公益財団法人 日本中毒情報センターの「中毒110番」に連絡する方法もあります。

大 阪 中毒110番（365日、24時間対応）TEL：072-727-2499  
つくば 中毒110番（365日、24時間対応）TEL：029-852-9999





西いわみ地区本部からのおしらせ

ご家族の

お葬式についてあらかじめ考えておきたいとお考えの方

ご自分の

安心して納得できるお葬式のための

# 事前相談会開催

とき

## 毎月第3金曜日

ところ

### 「虹のホールますだ」 益田市遠田町967-1

事前のお申込は  
必要ありません  
お気軽に  
お越しください

ご家族、ご本人が安心して、内容も費用も納得できるお葬式を実現するために、  
家族の想い、自分の想いをしっかり伝えるためにも、ぜひ事前相談をお勧めします。

事前相談会以外でも、ご相談のご希望があれば、随時ご相談ください。  
ご連絡、お越しいただければ対応いたします。

もしもの時は  
なにをすれば  
いいの？

葬儀費用って、  
どのくらいかかるの？

疑問や不安に  
思っていることは、  
どうすればいいの？

## 終活

についてのご相談も  
受け付けています。

エンディングノート  
プレゼント



事前相談  
特典1

事前相談のお客様  
専用特典プランを  
ご用意してお待ちしております。

事前相談  
特典2

事前相談していただき、  
ご葬儀受注していただいた方には  
特典があります。

JALまね 西いわみ地区本部 メモリアルセンター  
「虹のホールますだ」

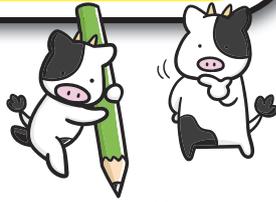
 **0120-121-860**  
〒699-3676 島根県益田市遠田町967-1  
TEL:0856-31-7080 FAX:0856-31-7081

# クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

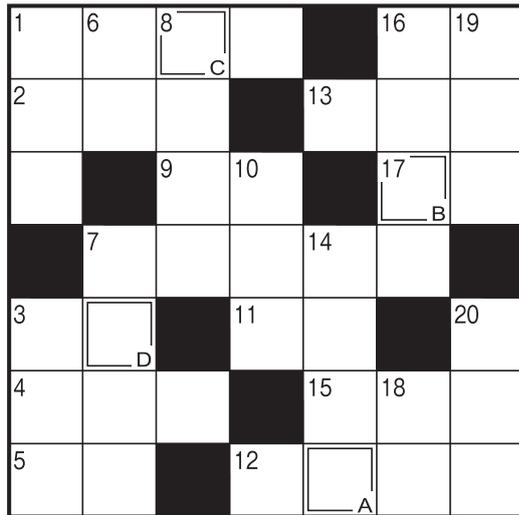
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2025年2月号

CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

## タデのカギ

- ①——造って魂入れず
- ③ニワトリの頭についています
- ⑥エックスの次です
- ⑦赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- ⑩脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑭地球を暖める天体
- ⑯ひな祭りのお吸い物につきもの
- ⑰ひな祭りに飾る花
- ⑱春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳細川たかしのヒット曲「——の渡し」

## ヨコのカギ

- ① 3月14日は——デー。バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ②お手洗いともいいます
- ③バレーボールのセッターが上げるもの
- ④梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤日本一長いものは367kmあります
- ⑦イソップ—— 源氏——
- ⑨失敗は成功の——
- ⑪水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮草餅によく使われる植物
- ⑯お彼岸に参る人も多いところ
- ⑰弾力がある、噛んで食べる菓子

## 応募要項

### 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



### 賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

### 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

JAしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係  
2025年3月7日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で41人の方からご応募いただきました。

### ◆先月号の答え◆

#### 「リウヒョウ」



## 佳作

渾身のスピーチ世界へ被団協  
気配りの一言添える年賀状  
生き過ぎた言いつつ母は葉飲む  
隣から自作自慢のさつまいも  
悔やんでももう戻れないあの頃に

安来市 斎藤美重子様  
安来市 青戸 涉様  
出雲市 大森喜代子様  
浜田市 岩本 静代様  
益田市 竹田 数子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください!

「家の光」3月号定価 629円  
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



## 優秀賞

ひたすらに生きた昭和を慈しむ

安来市 宇山 陽子様

誉め言葉老いの心もやる気湧く

出雲市 佐野美和子様

夕陽みて明日も元気を願う我

隠岐の島町 上川 晃一様

## 最優秀賞

風を読み空気も読んで行く余生

出雲市 北村 功様

（評）まいにち、風を受け、空気を受けて生活している私です。その中で、風を読み、空気を読んで感じ、生きている私を確かめます。

# 川柳の広場

選句者 島根県川柳連盟会長  
竹治ちかし先生

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）3月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
JAしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
FAX：0852-67-7708  
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



# フィッシング詐欺にご注意ください



疑似餌で魚を釣る=フィッシングというところから由来するとおり、JAバンクを装ったメールやサイトでお客さまの重要な情報を悪用する詐欺をフィッシング詐欺といいます。

**JAバンクを  
装った  
メールやサイトに  
ご注意ください。**

- ⚠️ 心当たりのないメールやサイトは開かないでください。
- ⚠️ ID・パスワードは絶対に他人に教えないでください。(JA職員がIDやパスワードを照会することはありません。)

## 偽メールに気をつけてください

- 1** JAバンクを装ったメールが届く  
誰かに「フィッシングメール」を送ってID/パスワードを開き出してしまう
- 2** IDとパスワードを伺うメールが届く  
「あー! やだ! 盗んでIDとパスワードを返信しなきゃ!」
- 3** IDとパスワードを返信してしまい知らない人に情報を盗まれてしまう  
「よしよし、IDとパスワードを盗んだぞJAバンクからお金を引き出しちゃう」
- 4** 盗まれたIDとパスワードを悪用されてしまう  
「あれ!? お金がなくなってる!!!」  
**ガーン**

## 偽サイトに気をつけてください

- 1** JAバンクを装ったメールが届く  
誰かを「偽のサイト」にアクセスさせて個人情報盗んでやろう
- 2** 偽サイトにアクセスを促すメールが届く  
「あー! JAバンクからのメールかしら?」
- 3** 偽サイトにアクセスし重要な情報を入力してしまう  
「アンケートに答えるだけでいいなんてうれしいわ!」
- 4** 知らない人に入力した情報が送られ、情報を悪用される  
「ひっかかったな盗んだ個人情報悪用してやろう...」  
**ギャー!!**  
「何で私の個人情報があるんどこに送ってるの?」



お問い合わせはヘルプデスクへ

緊急時のサービス停止も受付けています。



**0120-058-098**



JALまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

**優待割引**のお知らせ



JALまね ×



**PARIS MIKI**

メガネ一式  
**10%OFF!!**  
補聴器  
**5%OFF!!**



フレームもレンズも  
フィッティングも全て込み込み。  
選べる高品質レンズ付(超薄型/遠近)

**¥13,200~**(税込)

程よくトレンドを取り入れた  
多彩なデザインの  
**高品質フレーム**

有名メーカーと共同企画した  
パリミキオリジナルの  
**選べるレンズ**

上級視力測定技術者が在籍する  
パリミキだからできる  
**フィッティング**

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 島根県内パリミキ全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問い合わせ



JALまね

本店経済部経済課

[TEL] **0853-25-8912**



### タマネギの肉巻き



#### 材料 (4人分: 1本分)

- 豚バラ薄切り(長め)… 200g
- 塩こしょう……………少々
- 〔タマネギ……………1玉
- 〔サラダ油……………小さじ1
- ホウレンソウ……………1本
- ニンジン……………1/2本
- 小麦粉……………適量
- サラダ油……………小さじ2
- A 〔砂糖……………大さじ1/2
- 〔しょうゆ……………大さじ1
- 〔みりん……………大さじ1
- 〔酒……………大さじ1



#### 作り方

- ①フライパンに油を熱し、千切りにしたタマネギを強火で炒め、しんなりしたら火からおろして、粗熱を取っておく。
- ②ホウレンソウはサツと茹で、水に取り、水気を絞っておく。
- ③ニンジンは5ミリ角の棒状に切り、レンジ(600w)で2分間加熱して柔らかくする。
- ④豚肉の長い辺を1cmずつ重ねながら、幅20cm×長さ25cm以上になるように並べ、軽く塩こしょうをふる。
- ⑤④の手前2cmをあげ、タマネギを半分の長さにおさまるように置き、その上にニンジン、ホウレンソウを乗せて巻き寿司のように手前から奥に巻いて、小麦粉を薄く振りかける。
- ⑥フライパンにサラダ油を中火で熱し、⑤の巻き終わりを下にして並べ入れ、フタをして3分焼き、転がして上下を返して再度フタをして3分焼く。
- ⑦フタを取り、全体に焼き色を付け、混ぜ合わせたAの調味料を加えて、焼きからめ、好みの幅に切って皿に盛る。

#### コメント

- ・タマネギの甘味がぎゅっと詰まった野菜たっぷりの肉巻きで、免疫力アップ!
- ・すのこ代わりに肉の下にラップをひくと巻きやすいです。

#### アレンジ

- ・中央に巻く野菜はパプリカ、春菊、水菜、ニラ、ネギ、小松菜、あずこなどに替えてもOK!
- ・しゃぶしゃぶ用コース肉で細巻きもできます。

#### 材料 (4人分)

- チンゲン菜……………2株
- シイタケ……………3枚
- もやし……………1袋
- サラダ油……………小さじ2
- 塩こしょう……………3振り
- A 〔合挽肉……………100g
- 〔酒……………大さじ1
- 〔生姜……………ひとかけ
- 〔サラダ油……………小さじ1
- 〔水……………150cc
- 〔鶏ガラスープ(顆粒)…小さじ1
- 〔オイスターソース…大さじ2
- 〔しょうゆ……………小さじ1
- B 〔片栗粉……………大さじ1
- 〔水……………大さじ1

#### 作り方

- ①チンゲン菜は軸と葉先に分けて長さ3cmに切る。
- ②シイタケは薄切りに、もやしは洗って水気をきっておく。
- ③小鍋にサラダ油と生姜のみじん切りを入れて火にかけ、香りが出てきたら、合挽肉を加えて酒を振りかけて炒める。
- ④色が変わってきたらAを加え、煮立てきたらBの水溶き片栗粉を加えてとろみをつけ、3分間煮詰める。
- ⑤フライパンにサラダ油を熱し、チンゲン菜の軸とシイタケを入れて炒め、少し色が変わったら、もやしとチンゲン菜の葉先を入れ、好みの硬さに炒めて、塩こしょうで軽く下味をつけ、皿に盛る。
- ⑥④のそぼろあんを野菜の上にかける。

### 野菜炒めのそぼろあんかけ



#### コメント

- ・手ごろな価格帯で手に入る野菜を組み合わせ、しっかり野菜も取りましょう!

#### アレンジ

- ・そぼろあんは豆腐にかけたり、ご飯にかけたり、便利に使えます。
- ・ふるふき大根やジャガイモ、ニンジン、ブロッコリーなどの茹で野菜にかけても美味しいです!

お詫びと訂正

広報誌JAしまねびより1月号「しまねうれしび」におきまして、誤りがございましたので、お詫びし訂正いたします。

【誤】④②に小さく砕いた麩と卵を加え、血に混ぜる  
【正】④③に小さく砕いた麩と卵を加え、更に混ぜる

### 健康 散歩

## フレイルを予防しよう!

JA島根厚生連

冬になり寒さや天候によって外出する機会が減っていませんか?冬は活動量が低下しやすい季節です。活動量が低下すると「フレイル」のリスクが高まり、長く続けると日常生活に支障をきたします。冬場こそ意識的に「フレイル予防」に取り組みましょう。

フレイルとは身体的脆弱性のみならず精神・心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味します。簡単に言うと「健康と要介護の中間の状態、身体や認知機能の低下がみられる段階のこと」です。

#### フレイルの判断基準 (J-CHS基準)

1. 体重減少 6か月で、2kgの(意図しない)体重減少
  2. 筋力低下 握力:男性28kg、女性18kg未満
  3. 疲労感 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがする
  4. 歩行速度 通常歩行速度<1.0m/秒
  5. 身体活動の低下 運動・体操を週に1回もしていない
- 3つ以上当てはまると「フレイル」

●フレイルを予防するために3つのポイントを意識しましょう

#### ①適度な運動

ウォーキングや室内での軽い運動などがおすすめです。

買い物に行った時に意識して歩いたり、室内では馴染みのある「ラジオ体操」や「テレビ体操」など行ったりすると、冬場でも気軽に続けることができます。意識的に小まめな水分補給を心掛け、脱水に注意して行いましょう。

#### ②栄養バランスのとれた食事

食事は1日3食で、主食、主菜、副菜をそろえましょう。筋肉量の維持に欠かせない「たんぱく質」は、肉や魚、大豆、卵、乳製品などに含まれています。色々な食品を組み合わせ、冬場は手軽に色々な食材がとれる鍋がおすすです。

#### ③人とのつながり、交流のある生活

人とのつながりや交流など社会性のある生活も大切です。外出の機会が減る時期は自分に合った方法やコミュニティを見つけましょう。特別な活動ではなくても、買い物ついでに知り合いと話を、電話で家族や友人とおしゃべりすることでもかまいません。



体調に気をつけながら、意識してフレイル予防に取り組みましょう!

【編集後記】立春をすぎると暦の上では春が始まります。春を告げる野菜といえば表紙を飾る前田さんと米原さんも生産する「あすっこ」🌸クセがなくおいしいので見かけるとつい買ってしまいます。まだまだ寒い日が続きますので、栄養価の高い「あすっこ」を食べて元気に過ごしたいですね☺️(古)